

小石川東京病院から新・晴和病院へ

加藤進昌(公益財団法人神経研究所理事長)



晴和病院は創立70周年を迎えました。新宿区弁天町の建物は現行の耐震基準では不適合ということで東京都から警告も受けていましたので、改築は喫緊の課題でした。そのため外苑東通りから見て奥側の土地を売却して、代わりにここ数年は駐車場として使ってきた前面の土地を購入しました。土地面積は約3分の2に減りましたが、建築可能な建物の容積はむしろ大きくなり、より大きな病院を新築できることになりました。

晴和病院はナルコレプシーや睡眠覚醒リズム障害といった睡眠障害の診療には長年の蓄積があります。これに私が専門としてきた発達障害の外来とデイケアを10年前に導入しました。今ではこの二つの専門診療が病院の柱に育ってきたように思います。コロナ禍にもこういった患者さんは影響を受けないので、その傾向はさらに高くなっています。新築のために小石川東京病院に2020年に引っ越しましたが、外来は減るどころか逆に増えています。



新・晴和病院は先述の専門外来と睡眠検査を充実させます。同時に都民サービスとしての発達障害者支援の相談窓口を拡充させる予定です。これには法律相談や就労相談も含まれます。そのために「宿泊型自立訓練施設」を併設する予定です。最長2年間滞在して、その間にデイケアや自立訓練を受けて、親無き後の当事者の自立を目指します。心理カウンセリングや家族相談なども展開します。

新・晴和病院は3年後の完成を目指しています。都心に立地している利点を生かし、睡眠診療と発達障害支援を柱に、ナイトホスピタルや自立訓練、デイケアを備えた障害者の社会参加を支える医療機関を目指します。現在は文京区でその準備をしていることとなりますが、この地での実績もできれば何らかの形で生かせる道も模索していきます。皆様にはご支援を賜れば幸いです。



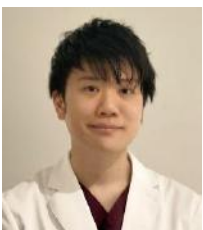
医師紹介

鈴木魁士医師



小石川東京病院医師の鈴木魁士と申します。簡単な自己紹介ですが、富山県で生まれ、高校までを過ごしました。上京して、東京大学医学部へ進学し卒業後、JR東京総合病院での2年間の初期研修を経て、東京大学医学部附属病院精神神経科に入局し、現在専攻医の2年目をさせていただいております。小石川東京病院には専攻医の1年目から外勤として週1回勤務を続けさせていただいております。学生時代には野球や軽音楽をしており、プロ野球観戦や音楽鑑賞、楽器(ギターなど)の演奏などを趣味としております。去年からMLB観戦にも手を出し始めております。どうぞよろしくお願いいたします。

水上颯医師



専攻医3年目の水上颯(みずかみ・そう)です。水曜日以外は東京大学病院で働いており、水曜日に小石川東京病院に外勤に来ております。精神科を志望したのは発達障害に興味があったからです。こちらでは発達障害をみる貴重な経験を積むことができ、日々勉強させていただいています。趣味はクイズです。学生時代には『東大王』というクイズ番組に出演する機会がありました。水曜日の当直の時には患者さんがテレビで『東大王』を見ていることがあり、少しばかり面はゆい思いをしています(自意識過剰かもですが...)。今でも週末はたまにクイズの大会に出たり、大会を主催したりすることがあります。気軽に声をかけていただくと嬉しいです！ よろしく申し上げます。

2022年6月からの外来担当表

*6月より診察日が一部変更になっております

		月	火	水	木	金	土(第1・3)
午前	初診	眞下(精神/睡眠) 加藤(発達) 宮岡(発達)	貫井(一般精神)	村木(一般精神) 飯田(一般精神) 丹治(発達) 伊東(睡眠)	小田(一般精神) 丹治(発達)	加藤(発達) 和田(睡眠)	太田(発達) 本多(睡眠)
	再診	小田 加藤 宮岡	眞下 貫井 丹治 伊東	山田 飯田 加藤 鈴木(訪問診療)	村木	村木 山田 小林 加藤 和田	小田 山田 山本 丹治 太田 伊東 本多
午後	初診	なし	なし	加藤(発達)	大森(睡眠) 上野(睡眠)	和田(睡眠)	なし
	再診	小田 眞下 山田(第4週のみ) 加藤 宮岡	眞下 丹治 加藤 伊東	眞下 村木 山田 伊東 鈴木(訪問診療)	小田 村木 丹治 上野 大森	村木 山田 小林 加藤 本多 和田	山本 太田 武田(第1週のみ) 伊東 本多

知って得する社会資源



グループホーム

高齢の方のサービスのイメージを持たれる方も多いかもしれませんが、精神科や心療内科に定期的に通院している方を対象としたグループホームもあります。グループホームでは、世話人さんのサポートを受けながら、アパートや一戸建ての一室に入居し、日中活動先(就労支援事業所やデイケア、学校など)に通いながら生活していきます。長期で利用できる場所もあれば、短期間(1~3年)利用して、一人暮らしを目標にする場所もあり、グループホームによって様々な特徴があります。

一人暮らしをしたいが、家事や金銭管理等生活に関することが一人でできるかまだ自信がなく、その一歩が踏み出せない方に向いているサービスです。都道府県や国からグループホームの家賃補助等もあるため、経済的にも優しい制度です。地域の保健師や病院のソーシャルワーカーと相談しながらグループホームを探すこともできますので、興味があれば相談してみてください。(精神保健福祉士 木許)

病院からのお知らせ

【感染症対策】

- ・現在も感染対策を継続しております。院内でのご面会をご遠慮ください。
- ・院内でのマスクの着用、入口での検温と手指消毒にご協力ください。

【駐車場】

- ・病院敷地内の駐車可能なコインパーキングは5台のみとなっております。
- ・できるだけ公共交通機関での来院をお願いいたします。

【電話について】

- ・電話番号のお間違いが多くなっております。番号をお確かめの上、おかけ間違いのないようお願いいたします。
- ・電話がつながりにくいというお声があり、電話回線を増やしました。ご迷惑をお掛けいたしました。

編集後記

今号は医療相談課が担当させていただきました。

6月で小石川東京病院での診療が3年目となります。こちらに来てから、訪問診療や、生活保護受給中の患者様の受け入れ等、新しい取り組みを行ってきました。コロナに負けず、皆様のメンタルヘルス向上のお手伝いができるように、今後も努めてまいります。新しい晴和病院ができるまで、どうぞ宜しくお願いいたします。